

令和7年3月

唐津港（東港地区）客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、唐津港（東港地区）の東港岸壁(-9.0m)への、4万総トン級客船の入出港及び係留の安全性について調査検討し、必要な航行安全対策を取りまとめた。

本検討の対象水域は、-7.5m以深の水深が確保された状態を前提として検討した。

入出港の安全性については、船体に作用する風圧力等の外力影響、着離岸操船に必要な制御力、岸壁の防舷材強度に起因する許容接岸速度に関する基礎検討を行ったうえで、ビジュアル操船シミュレータ実験により入出港操船及び着離岸操船における安全性を評価し、対象船舶の入出港条件等を検討した。

係留中の安全性については、OCIMFの計算手法によって検討した結果から係船柱強度と係留力の関係を確認し、安全に係留可能な条件を検討した。

2 調査等概要

- (1) 受入計画の概要
- (2) 航行環境
- (3) 検討課題の抽出及び検討方針
- (4) 港湾の施設の技術上の基準による検討
- (5) 入出港の安全性に関する基礎検討
- (6) 外力影響の検討
- (7) ビジュアル操船シミュレータ実験
- (8) 入出港操船に関する安全性の検討
- (9) 係留の安全性の検討
- (10) 航行安全対策